

令和元年度 第3学年 国語科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の実態と課題</p>	<p><実態></p> <ul style="list-style-type: none"> 音読を得意とする児童が多く、とても上手に表現し楽しく読むことができる。ただ、書く力がまだ十分に身についておらず、何を書きたいのかがまとまらなかったり、自分の力だけでは書けなかったりする児童がいる。また、漢字を苦手とする児童も多い。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 書き方がわからず、書き始められない児童がいる。 書く量に個人差がある。 学習した漢字を活用できない。 	
<p>重点的に育成すべき【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> 目的に適した事例を挙げながら、説明する文章を書く力。 「初め」「中」「終わり」の構成を意識し、「中」の事例を絵と組み合わせながら段階に分けて書く力。 	
<p>【授業改善策】</p>	<p>授業改善の手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> 見本や書き方を掲示する。また、一度一緒にやる。 書く活動を増やし、回数をこなす。
	<p>実践する単元</p>	<p>単元名： <u> 食べ物ひみつを教えます </u> 指導時間： <u> 8 </u>時間 指導時期： <u> 11 </u>月頃</p>
	<p>単元における具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> すがたをかえて食品になる材料について調べるにあたり、様々な資料を提示し、図や表を使って整理することで、文章を書く手立てにする。 「初め」「中」「終わり」の構成において、各段落ごとに書くポイントや書き方をおさえる。また、書画カメラや拡大したものを用意し、視覚的に一人一人が理解し、書けるようにする。 自分の力でまとめることでより理解を確実にする。その際、写真や絵を書きながらまとめることとする。

令和元年度 第3学年 社会科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の実態と課題</p>	<p><実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的事象に対しての興味関心が高い。 ・学習問題を解決するためにすすんで調べようとする。 ・写真やグラフから分かることを読み取る力が弱い。 ・調べたことを整理したりまとめたりすることが苦手な児童が多い。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の読み取りが不慣れである。 ・調べたことをまとめる力が弱い。 	
<p>重点的に育成すべき【資質・能力】</p>	<p>地域の産業と消費生活の様子について、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動や具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめることができる資質・能力</p>	
<p>【授業改善策】</p>	<p>授業改善の手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、色々な資料に出会わせる。また、資料を扱う際には、丁寧に読み取らせる。 ・調べる際には、課題意識をもたせたり予想させたりする。
	<p>実践する単元</p>	<p>単元名： <u>働く人とわたしたちの暮らし</u> 指導時間： <u>14</u> 時間 指導時期： <u>9・10</u> 月頃</p>
	<p>単元における具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見学に行く前に、その店や工場の工夫が分かる写真を1つ見せ、他にどのような工夫をしているのか予想させ、その予想から見学の視点をもたせる。 ・資料を扱う際には、見学で学んだことを想起させ、数字や用語を実感をもって理解させる。 ・学習を通して分かったことや考えたことを新聞にまとめさせる。自分の力でまとめることでより理解を確実にする。その際、写真やグラフ等の資料も活用しながらまとめることとする。

令和元年度 第3学年 算数科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の 実態と課題</p>	<p><実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習問題に意欲的に取り組む児童が多い。 ・計算の技能はだいたいの児童が身に付いている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事柄に取り組む姿勢や授業秩序が保たれている。 ・自分の考えを書いたり説明したりするのが苦手な児童が多い。 ・文章問題の読み取ることが苦手な児童が多い。 	
<p style="text-align: center;">↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数量についての豊かな感覚。 ・数学的に考えることや数理的な処理のよさに気づき、算数の学習を進んで生活や学習に活用しようとする態度。 ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり、目的に応じて柔軟に表したりする力。 	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【授業改善策】</p>	<p style="text-align: center;">↓</p> <p>授業改善の 手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・計算の式を図式化して示してもよいことを伝え、計算の流れを確認していく。 ・問題構成を把握するために具体的操作活動を取り入れたり、具体物を利用した問題提示を工夫したりする。 ・板書はポイントを簡潔に書くことで、聞いている問題を整理し、問題文の問いの部分に線を引かせる。
	<p>実践する 単元</p>	<p>単元名： <u>重さを数で表そう</u></p> <p>指導時間： <u>8</u> 時間 指導時期： <u>11</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを提示し、学習活動を明確にし、次に全員で基本の考えや既習事項を確認してから取り組ませることにより、児童が見通しをもって問題に取り組めるようにする。 ・重さを比べる活動では、具体物を用いた活動を通して、量とその測定についての理解の基礎となる感覚を養う。 ・具体物や半具体物を用意し、問題を解く際のイメージをもたせたり、具体物を操作することにより多様な考えを引き出したりできるようにする。 ・書画カメラや発表により、友達の考え方を視覚的にとらえやすくしたり、クイズ形式を取り入れて友達の考えに触れたりすることで、楽しみながらいろいろな考えを理解できるようにする。

令和元年度 第3学年 理科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の 実態と課題</p>	<p><実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物や植物の観察では、関心をもって取り組んでいる。 ・実験に楽しみながら熱心に取り組むことができている。 ・観察したことを、文章にして内容をまとめることが苦手な子が多い。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験の課題に対して、自らの考えをもち予想を立てることを苦手とする児童が多い。 ・理科の用語の理解を苦手とする児童が多い。 	
<p>↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・差異点や共通点を基に、問題を見いだす力や主体的に問題解決しようとする態度を養う。 ・実験の過程や結果を記録し、学習内容を整理する能力を付ける。 ・自然観の理解を生活経験から問いをもたせていく能力を養う。 	
<p>【 授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓</p> <p>授業改善の 手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の課題について、予想したり、話し合いをしたりしながら、目的意識を明確にし、取り組ませる。 ・まとめのワークシート等を使って、学習内容の確かな定着を図る。
	<p>実践する 単元</p>	<p>単元名： <u>「豆電球に明かりをつけよう」</u> 指導時間： <u>8</u> 時間 指導時期： <u>1</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事象Aと事象Bを見せて、2つを比べさせ、「何が同じで、何がちがうのか？」と問うことで、考える観点を与える。 ・結果から、回路の絵を描かせる。絵の内容を説明するように、豆電球の明かりが繋がった理由を文章にまとめさせる。

令和元年度 第3学年 音楽科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の 実態と課題</p>	<p><実態> (全般) ・音楽の授業におおむね意欲的に取り組み、明るく素直な反応をする児童が多い。</p> <p>(歌唱) ・明るくのびのある発声で歌うことができるが、表現意欲にムラが感じられることもある。</p> <p>(器楽 主にリコーダー) ・まだ初期指導の段階であるが、息の使い方や運指ですでに躓いている児童が見受けられる。</p> <p><課題> ・リコーダーの運指が片手の範囲であるうちに個別指導を充実し、苦手意識をもたせない指導の工夫が必要である。</p>	
<p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リコーダーに対する興味・関心・意欲 ・根気強く課題に取り組む態度 ・音と運指を結びつけて捉える技能 	
<p>【 授 業 改 善 策 】</p>	<p>授業改善の 手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生で習得させたい7音をスモールステップで指導し、運指の確実な定着を目指していく。
	<p>実践する 単元</p>	<p>単元名：<u>せりつのとくちょうをかんじとろう (あの雲のように)</u> 指導時間：<u> 8 </u>時間 指導時期：<u> 10 </u>月頃</p>
	<p>単元における 具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運指が片手の範囲で演奏可能な楽曲にじっくりと取り組ませる。 ・変則的な運指であるため混乱を招きやすい、高い「ド」「レ」の指導を丁寧に行い、まずは5音の運指に自信をもたせる。 ・課題を達成できた児童にはハーモニーパートを練習させるなどのオプションを設定し、苦手な児童がゆっくり時間をかけて練習できるようにする。

令和元年度 第3学年 図工科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の 実態と課題</p>	<p><実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図工室で活動することについては非常に意欲的である。 ・楽しみながら、主体的に発想し構想していく力のある児童が多い。 ・児童同士お互いに声をかけあったり、発見したことを伝え合ったりすることができる。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3学年から図工室を使うため、図工室でのルールを理解できない児童がいる。 ・これまでの2倍の大きさの画面で制作することが増え、大きく描けない児童が目立つ。 	
<p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで表現したり、鑑賞したりする活動に取り組む態度を養う。 ・造形遊びをする活動を通して、材料や用具を適切に扱うことができる。 ・造形遊びをする活動を通して、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくることことができる。 	
<p>【 授 業 改 善 策 】</p>	<p>授業改善の 手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業はじめに、作業工程やめあての明確化を来ない、ルールの明確化を行う。 ・新しい材料や用具にふれる機会を増やし、経験の中から安全に授業を受けることを学んでいく。 ・授業の終盤や鑑賞の時間を使って、児童同士の良かった点を紹介する。
	<p>実践する 単元</p>	<p>単元名： _____ きらきらの世界へ _____</p> <p>指導時間： _____ 4 _____ 時間 指導時期： _____ 9、10 _____ 月頃</p>
	<p>単元における 具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・きらきらした材料に触れて、表現したいことをイメージする。 ・班ごとで話し合い、材料を使って何がつくれるかを話し合い、造形遊びを通して作品の発想や構想の幅を広げていく。 ・たくさんの材料や用具をつかって、適切に扱えるように学び、表現の幅を広げていく。イメージがわからない児童については、個別で対応する。 <p>(きらきらした材料、ハサミ、のり、ボンド、八つ切り画用紙、他)</p>

令和元年度 第3学年 体育科 授業改善推進プラン

<p>本校児童の 実態と課題</p>	<p><実態></p> <ul style="list-style-type: none"> ・得意、苦手関係なく、体を動かすことが好きな児童が多い。 ・教師が示したコツやポイントは意識して、一生懸命練習に取り組むことができる。 ・自己の課題に合った練習方法を選択したり、よりよい活動にするための工夫を考えたりすることを苦手としている。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題を見付けること。 ・自己の課題解決に向けて思考し、判断すること。 	
<p>↓</p> <p>重点的に 育成すべき 【資質・能力】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の運動の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える資質・能力 	
<p>【 授 業 改 善 策 】</p>	<p>↓</p> <p>授業改善の 手立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで作戦を立てる場面を設定する。 ・自分たちにあった練習の場を選択させる。
	<p>実践する 単元</p>	<p>単元名： <u>ゴール型ゲーム</u></p> <p>指導時間： <u>12</u> 時間 指導時期： <u>2・3</u> 月頃</p>
	<p>単元における 具体策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム全員が得点を入れるとボーナス得点がもらえる等、個人の力よりもチーム全員が能力を伸ばした方が勝てるようルールを工夫する。 ・振り返りを行い、自分達の課題を把握させる。また、その振り返りを活かし、試合前の練習においてチームの課題にあったものに取り組みさせることで、課題意識をもって活動する。